

学校運営機構株式会社  
に対する長期極度貸付について  
(極度額300百万円)

文理開成高等学校に対する  
支援スキームとしての位置づけ

## 千葉の私立高校が経営破綻 文理開成高校 授業料減免生徒増加で圧迫

2012.12.19 11:59

千葉県鴨川市の文理開成高校（全日制生徒数153人）が5億数千万円の負債を抱え、事実上の経営破綻に陥っていることが19日、県への取材で分かった。県は同校を運営する学校法人、村山学園に対し、12月分として10日に予定していた同校への助成金約4千万円の支払いを凍結し、再建の行方を注視している。

県によると、同校は、予備校出身の教員の高額な人件費や授業料減免制度を利用した生徒数の増加などで経営を圧迫していた。今年6月には教員への給与支払いが滞り、県は7月、学校の運営状況を調査。経営の立て直しを求めたが改善されず、経営支援先との交渉も不調が続いているという。

同校は平成23年度に約1億円の助成金を県から受領。今年度も6、12、3月の年3回に分け、同額程度が支払われる予定だったが、県は12月分を支払っていない。

また、同校は職員から天引きして徴収した社会保険料を学校の運転資金に回しており、未納額は約7千万円になるという。

同校は産経新聞の取材に対し「後日改めて説明の場を設ける」とコメント。県は「支援者らとの交渉を見守って今後の対応を決めるが、補助金は税金なので経営管理が不十分な学校に支出することはできない」としている。



事実上の経営破綻状態となった文理開成高校＝19日午後、千葉県鴨川市

【千葉】

文理開成高 来月5日に入試実施

2013年1月23日

鴨川市の私立文理開成高校の経営を引き継ぐ横浜市の学校法人「八洲(やしま)学園」は二十二日、同校で行った記者会見で、二月五日の来年度入試の後、三月の公立高の合格発表後にも二次募集を実施する方針を示した。在校生も予定通り進級し、存続へ署名集めなどをしてきた保護者は経営再建に期待した。

同校の新理事長には、八洲学園の関連会社「学校運営機構」の鈴木淳社長が就き、八洲学園の和田公人理事長も理事として経営に加わる。前理事長で学校長を務める中島宗一氏も理事として残った。

会見には鈴木新理事長や和田氏らが出席し、経営参画する経緯などを説明。再建に向け、保護者会や同窓会と連携しながら学校運営する方針を示した。

同校保護者会の女性役員は「子どもの転校も考えていたところだった。学校が存続するのでホッとしました」と話した。学校存続の署名活動を続けてきた男性保護者も「子どもらが進級でき、三年生が大学に合格しても進学できないという心配もなくなりました。これからのいい学校になってほしい」と期待していた。

八洲学園は東京、大阪などで通信制の高校や大学、専修学校を経営している。(福原康哲)



新体制を発表する八洲学園の和田理事長(左)と、新理事長に就いた鈴木社長(中)ら=鴨川市で

# 八洲学園グループにとっての戦略的意味

## 【八洲学園にとって】

- その社会的意義・ミッションを広く世に問い、学園の認知度を高める絶好の機会

## 【学校運営機構株式会社にとって】

- リアルな経験を積める
  - 全国の学校の「運営業務」を集中的に受託し、規模の経済により飛躍的な運営コストの削減を図るビジネスを志向する上で、リアルな学校運営に従事することは、経験値を増やす絶好の機会
- 先駆者として地位を確立する
  - 今後増加する「経営困難校」の再生ニーズ。この新しい社会的ニーズを正面から捉え、解決する会社としての認知を高め、いち早く対応することで先行者メリットを獲得する絶好の機会

# 文理開成高等学校に対する支援体制について

八洲学園



長期貸付 極度額3億円

学校運営  
機構

- ・期間 5年間
- ・金利 年1%



長期貸付 合計3億円程度

文理開成  
高等学校

2月20日 民事再生を申請  
2月26日 再生手続開始決定

5月下旬 再生計画提出  
7月下旬 債権者集会  
再生計画の認可

# 文理開成高等学校における資金使途について

## 資金使途

- 公租公課(未払い分)
  - 130百万円
- 教職員給与 等(未払い分)
  - 70百万円

---
- 教職員給与(2月・3月分)
  - 16百万円
- 旧校舎解体費用
  - 50百万円
- その他(改修費用、運転資金)
  - 34百万円

## 調達

- 長期借入金
  - 300百万円